

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hideki Hafuto 〒659-0023 11-13 hama-cho Ashiya Hyougo.JAPAN
 Mail : hafuto@kobe.zaq.jp Tel 0797-31-8829
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Poul V Thomsen
 全ての世界に出て行こう Go Ye into All The World:
 アジア地域会長 岡野泰和
 未来を始めよう、今すぐに Start Futur Now
 西日本区理事 高瀬稔彦
 志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。
 Attend Club Meetings With a clear motive the most of them.
 六甲部部長 山田滋己
 さらに交流 さらに国際 さらに活発な六甲部へ
 More further interactive & international and we move the Rokko Distort move active
 芦屋クラブ会長 羽太英樹
 いざ立て、20年をめざして

会 長 羽太英樹
 直前会長 島田 恒
 副 会 長 福原吉孝・堤 清
 書 記 柏原佳子・堀江哲次
 会 計 桑野友子
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六 甲 部 五十嵐かほる(メネット主査)

4

Apr, 2014
 203号

今月の聖句

更に、あなたがたは今がどんな時であるかを知っています。あなたがたが眠りから覚めるべき時が既に来ています。今や、わたしたちが信仰に入ったころよりも、救いは近づいているからです。
 ローマの信徒への手紙 13:11

4月第1例会プログラム

- と き： 2014年4月16日(水) 19:00~21:00
 と ころ： ホテル竹園芦屋3F
 司 会： 五十嵐政ニワイズ
 受 付： 桑野友子ワイズ・羽太光子メネット
1. 開会点鐘 羽太英樹会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖書朗読羽太英樹ワイズ
 4. ゲスト紹介 五十嵐政ニワイズ
 5. 食前感謝 柏原 佳子ワイズ
 6. 食事・歓談
 7. ゲストスピーチ「カンボジアのお話し」 諏訪恵子さん
 8. 3月第2例会議事録承認 羽太英樹会長
各事業委員報告
 9. YMCAニュース 藤田良祐連絡主事
 10. 誕生祝い羽太英樹会長
田舎庸男・権甲植・島田恒・各ワイズ
 11. 閉会点鐘 羽太英樹会長

4月はY・サ強調月間です



Yサ・ユース事業委員 都筑省三
 芦屋クラブの今年の役割分担表を見ると
 私はYサ事業委員になっています。

その仕事内容の欄には「YMCA との協働、チャリティラン、Y Yフォーラム、留学生交流会」と書かれています。
 チャリティラン、YYフォーラムは神戸YMCAが中心となってワイズメンズクラブが応援する立場にあるように思います。
 一方、留学生交流会は芦屋クラブが自主的に取り組んでいる事業です。今年もこの留学生交流会は2月5日(水)例年通り特別のご協力のもと、ブルーミンモードで盛会に開催されました。今回は特に御影ユースプラザのリーダーの大勢の中高生の参加もあり、若さに溢れた賑やかな会となりました。みんなが一つとなった時間でした。
 ワイズメンズクラブの最大の使命はYMCAのためのサービスクラブであるという事です。4月はYMCAサービスの強調月間となっています。
 Yサ事業はワイズにとって基本的な任務であるように改めて思いました。今、神戸YMCAは新しい歩みを始めようとしています。芦屋クラブも共に歩んでいきたいと思っています。

3月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計
メンバー	14名	出席者	14名	
ビジター	2名	メイクアップ	4名	
ゲスト	3名	合計	18名	
メネット	3名	在籍者	19名	
コメット	0名	(内広義会員1名)		
合計	22名	出席率	100%	

3月第1例会報告

日時:3月19日(水) 19:00~21:00

場所:ホテル竹園芦屋3階

司会:藤川晃成ワイズ

出席者:五十嵐政二・かおる、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、権甲植、島田恒、都筑省三、堤 清、羽太英樹・光子、畠中由圭、福原吉孝・美鈴、藤川晃成、坂東幸子、渡辺倫子、藤田良祐ゲスト・ゲスト:林昌利(イムチャンニ)芦屋山手教会牧師、福田宏子ワイズ(宝塚クラブ)、ご友人の富士元史子、杉谷和代ワイズ(宝塚クラブ)、ご友人の深沢佳代子の総勢24名が参加され、華やかな開会となりました。会食ではビジター参加者が多いので、会食もとくにおいしかったように思いました。ゲスト紹介では芦屋山手教会に昨年4月から就任された林昌利牧師(島田恒紹介、権さんの友人)がイム・チャンニと紹介して牧師と呼ばないで牧者と呼んでほしい、といわれました。なおイムというところで仏と呼ばれたことがあった?などユーモアあふれた自己紹介でした。またビジターの富士元史子、深沢佳代子様は芦屋市の竹園近くのお住まいで、今後メンバーになって戴けたらいいなと思われました。



さて、渡辺倫子ワイズによるメンバーズ・スピーチは「西安旅行記」でした。「何故、旅行に参加したか」で西安の解説から始まり、唐代の青磁と中国茶の聖地「法門寺」やよう州窯の窯元と、1974 発見以来ずっと見たいと憧れていた「兵馬俑」などの史跡を中心とするお話しは、旅行中に読まれた短歌も味わい深く、歌われるように会場を酔わせました。とくに西安市から 138km の「法門寺」はその 13 層の塔(高さ 47m)が 1981 年に半分が崩れて修築されたがその際塔の地下に宮殿が発見され、その中に釈迦の指骨が発見され有名になったこと。釈迦死後 200 年に釈迦を信奉したアショカ王が釈迦の骨を分骨し世界各地に塔を立て供養したと伝えられてきたが、考古学的に法門寺のは釈迦の指骨と証明されたこと、青磁や中国茶のお話しも深く、7000 体以上の兵馬俑見学時の感激も参加者に伝わってきて、お話しすべてが印象深く余韻が残りました。

そのあと4、5月の例会のスピーカー、4月5~6日(土、日)の「さくら祭り」などのお知らせがありました。

藤川晃成

第6回神戸YMCAスピーチコンテスト

3月5日(水)に兵庫国際交流会館で開催のコンテストに、羽太会長、柏原書記、と参加しました。



芦屋クラブがブルーミンメドウでの留学生交流会を開始したのは6年前でしたが、引き続いてのコンテストには、芦屋クラブは交流会に参加した学生を応援して参加してきました。今回は、アジアだけでなくフランスなどからの語学研修生も参加しており、YMCA の活動を肌で感じる事が出来ました。

スピーチは初級、中級、上級の3部門で競われましたが、お国ぶりなどもありましたがスピーチの質は高く、興味深く、感心しながら拝聴しました。芦屋クラブの交流会参加者でスピーチしたのは中級の部「王佳儀さん」、上級の部「王正宇さん」でしたが、共に入賞されました。

去年はなぜか参加しませんでした、時の執行部の考え、YMCA との連絡などの事情もあったのかと思います。しかし途切れたことは残念に思います。これからも芦屋クラブの誇りある事業である「留学生交流会」の果実としてスピーチコンテストを応援していきたいものです。

上野恭男

バラ科のリンゴ物語

津軽では薄紅色の桜の花が雪の様に散る頃、入れ替わって緑の葉がいっぱい繁った樹に仄かな匂いの白い5弁の花が咲き始めます。そうです。「バラ科のリンゴ」の樹です。

「バラ」と同じく「リンゴ」にまつわる神話・伝説は数多く、旧約聖書では神の創造した最初の人間とされるアダムとイブが食べた「禁断の木の実」は「リンゴ」だったと言う俗説が…。「リンゴ」の生い立ちは野生種として、小アジア・コーカサス地方で栽培が始まり民族移動によってヨーロッパ全域に。古代ギリシャ・ローマ時代にも改良は進められたが果実はまだ「小さな」物だったらしい。アングロサクソン人は特に「リンゴ」を好み、16世紀には大きな「リンゴ」が登場し、17世紀には数百もの栽培品種が生まれ、アメリカ東部ニューイングランド地方にも入植者達により導入され(カントリーミュージックの流れと同様に)今やヴァーモント州をはじめニューヨーク州は世界的な産地となっています。日本では産業としてリンゴ栽培が始まったのは明治8年に東北地方でアメリカから苗木を導入し試作



が始められたと。その後品種改良も進み 1970 年頃に日本で誕生した「ふじ」(父・国光×母・デリシャス)はアメリカでも栽培され世界的人気とか。「奇跡のリンゴ」で話題になり昨年映画化された青森の生産者・木村秋則さんの自伝ですが、20数年苦勞して「自然栽培(無農薬)リンゴ」を成功されたのも一つのロマンとして心に…。さて今夜は一輪挿しの「バラ」を見ながら、久しぶりにビタミンCたっぷりのローズヒップティーかアップルのフレイバーティーでも如何？

篠坂幸彦

第2回六甲部評議会 & 懇親会

日時: 3月15日(土)

場所: 神戸 YMCA 一階チャペル

第2回評議会が開催された。議事は、六甲部活動の中間報告が山田部長を初め各事業主査、各クラブ会長より中間発表があった。大野メンの司会により肅々と進行していった。

特筆すべき報告としてメネット主査である五十嵐かおるメネットからの報告であった。



自閉症の3人の母親をパネリストとして招き報告と話し合いを羽太メネットの司会で行ったこと。小生自身

も知らなかったことばかりで、出席者も多くの<きずき>があり驚きと感動を得た事は間違いない。さらに「きらりと輝くアート展」を六甲部のメネットとともに実施した事で、障がいを持つ方々の感性の素晴らしさに触れ、よき発表の場となり家族の方々と社会のよき交流の場を企画した事は、芦屋クラブの同僚メンバーとして誇らしく思えた。入場者も550名余と喜ばしい結果であった。

山田部長を初め、六甲部の出席者の評価も大変高く、次期部長も次年度、第2回の開催の実現を望まれている約束するとのことであった。ワイズメン活動の地域に奉仕する精神を見事に具現化して、まさに「きらりと輝く企画…」であった。

また、芦屋クラブの羽太会長より、関学のグローバル院長講演会の企画とその後に3名の新規メンバーの入会に繋がっ



た報告があり、EMCの成功事例として報告された。さらに例会の賑わいと芦屋クラブの活性化した活動等、嬉しい気持ちで聞かせて頂いた。

その後、多胡次期六甲部部長の活動指針を拝聴した。また、YMCAから、ファミリー ウェルネスセンターが8月31日の開館する事、健康福祉に貢献し、コミュニティ育成に重点をおく事、現三宮会館の7月末までに閉鎖し再開までの日程等の報告があった。

その後、懇親会の開催があった。大野メンのギターのリード



で参加者全員で歌を楽しみ、美味しい料理を堪能し、六甲部各位と美味しい飲み物とともに交流もしっかりと味わう事が出来た。最後に後半期の六甲部の活動の成功を祈念しておきたい。

福原 吉孝

会長の独り言「勝海舟とYMCA」

阪神淡路大震災の翌年に帰天した父の古い書類を整理していたら、A4の一枚のコピーが出てきた。それは親族である元・東京YMCA主事・星野達雄が1977年にYMCA機関紙(と思われる?)に寄稿したクリスチャンになった勝海舟とYMCAとの繋がりの記事である。勝海舟がクリスチャンになっていた?! YMCAの集会にも出席していた!? …知らなかった。記事から紹介しよう。海舟は4男5女に恵まれ、彼の三男梅太郎は信仰深い米人ホイットニー家の娘クララと明治19年に結婚しており、YMCAにも出入りしていたと言う。従って海舟もキリスト教の影響を強く受けずにはいらなかった。「海舟は長崎時代、相当キリスト教を研究していたし、蘭語から讚美歌を翻訳した」との史実もある。「クララの日記」が残っていて、その記事から海舟がYMCAに出入りし、世間には公表しなかったようであるが早くからキリスト教を信奉し、逝去の間際には信仰告白をしたとの記録があるという。聖書を手にした幕末維新の「明治のサムライ」が身近に感じられた37年前の記事である。

羽太英樹

スピーカー諏訪恵子さん プロフィール



茨城県出身。1992年から約11年間カンボジアの農村地域保健プロジェクトに従事。
2004年から2011年まで、JOCSカンボジアワーカーとしてJOCSカンボジアプロジェクトの責任者、その後、女性シェルターで指導者として活動

した。

現在は大阪発達総合療育センターに看護師として勤務。

2014年3月第2例会議事録(抄)

と き: 3月26日(水)

と ころ: 芦屋市民会館207号室

参加者: 羽太英樹会長・上野恭男・桑野友子・島田恒・福原吉孝・都筑省三・柏原佳子(各ワイズ)・藤田良祐連絡主事

18時から開催のプリテン編集会議での討議事項。

2013年度より西日本区役員27人に郵送しているプリテンは、次期からはメールでの配信に変更する。

4月から芦屋NPOセンターの印刷費が値上がりするが、印刷は今後も市民活動センターで印刷し、例会参加者数のみ印刷することとする。

第2例会

1. 今後の第1例会予定

4月16日 諏訪恵子さん「カンボジアのお話」

5月21日 三浦佳子さん「ミャンマーのお話」

2. さくら祭り(4月5日・6日)15番目の出店テントに決定

・シフト: 上野恭男ワイズよりメールで配信する。

・鉄板・都筑省三ワイズ車で羽太英樹会長と鈴木誠也ワイズのご協力で搬入。

・綿菓子機・のぼり2本は柏原佳子ワイズが、材料は桑野友子ワイズが用意する。

・ニンジンカットは渡辺ワイズが20K、各自が2K購入しカットする。各自分は寄付。

3. 2月会計報告が桑野友子会計よりなされ承認された。

4. その他

・木口財団への助成金申請書は次期会長と上野恭男ワイズが進めていく。

・竹園Hより4月以降の食事代は消費税をプラスしたいと申し入れあり。他クラブとの見合いで柏原佳子書記が対応する。

・IBC・DBC共に整理の提案は継続審議とする。

5. YMCA本部はクラウンホテルに7月移転予定。

6. 西日本区大会参加者は8名。補助金を検討。

7. 藤田連絡主事を芦屋クラブから助成して西日本区大会に参加することを決定。

8. 特例として牧師職会員は年会費を半額とする。

YMCA ニュース

1. 青少年フェスティバル、開催

神戸YMCAも加盟している兵庫県青少年団体連絡協議会と兵庫県青少年本部主催の「ひょうご青少年活動フェスティバル」が2月23日にJR神戸駅前のデュオこうべで開催され、三宮ランチのリーダーが委員として参画し、YMCA活動をアピールしました。

2. ファミリーウェルネスセンター開設準備室、オープン! 中央区脇浜に建設中のファミリーウェルネスセンターに程近いJR灘駅前に、3月8日「開設準備室」がオープンしました。開設まで、申込受付や案内の場所として活躍が期待されます。

3. 東日本大震災支援、街頭募金、実施

3月21日に西宮、三田、学園都市、元町大丸前にて、東日本大震災支援募金活動の結果、合計で87名が参加、18万円弱の募金を得ることができました。

今後の予定

イースター早天礼拝

日 時: 4月20日(日)午前7時00分~8時00分

場 所: 神戸東遊園地(神戸市役所南)

奨励者: 汐碓直美さん(日本基督教団神戸栄光教会伝道師) テーマ: 「もう石はない」

創立記念日礼拝

日 時: 5月8日(木)午後6時30分~8時30分

場 所: 神戸YMCAチャペル

メッセージ: 武田寿子さん(前会長・理事長)

テーマ: 「YMCAからの賜物 ~11年を振り返って~」

第30回チャリティゴルフ大会

日 時: 5月21日(水)

場 所: 千刈カンツリー倶楽部

神戸キリスト教青年会定期総会

日 時: 5月30日(金)午後6時30分~8時30分

場 所: 神戸YMCAチャペル

編集後記

薔薇科のリンゴのエッセイを読み、確かに昔のリンゴは小さかったのでしょうか。デリシャス、むつ サンフジのように大きければ、イブも白雪姫ももう少し考えて、ガブリとまる齧りなどお行儀の悪いことはしなかったでしょう。歴史は変わったかも・それにしても今年の桜の開花の速度が速く感じられます。

3分咲きとか、5分咲きを知らずに一度に桜色に染められて・・・。「桜祭り」の頃はハラハラと桜吹雪が舞い、想いおもいの春の出来事が思い出されることでしょう。「世の中に 絶えて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」・・・このプリテンが発行される時には「さくら祭り」も終えて静かになります。「花さそう 嵐の庭の雪ならで 振りゆくものは我が身なりけり」・・・5月は薔薇の季節です。いま、新芽を誇らしく突き出して初夏を待っているようです。

柏原佳子